

令和4年度 学校評価 自己評価書（3学期）

1 学校の重点目標

- (1) 学習指導法の改善と個に応じた指導を通して、言語活動の充実と思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 (2) 自己指導能力を育む積極的な生徒指導を推進する。
 (3) 道徳教育を充実させ豊かな心を育むとともに体力・健康づくりを推進し心身のたくましさの育成を図る。
 (4) 開かれた学校づくりに努め、地域や家庭、関係機関と連携した教育活動を推進する。

2 課題と改善策（職員の評価は、4点満点の平均。矢印は2学期から0.2以上の変化）

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学力向上	① 主体的学習活動及び思考・判断・表現力の育成	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習指導を充実させていく。 ・学習評価の在り方を検討していく。 ・特別支援学級の生徒についての確実な情報交換と通常学級との連携が必要。
	② 特別支援教育の視点に立った個に応じた指導	3.0	
	③ 諸調査・検査等の分析と活用	3.0	
生徒指導	④ 危機意識及び生徒情報の共有と共通実践	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体での情報の共有を確実にを行う。 ・誉める、適時適切な指導を充実させていく。
	⑤ 自己指導能力育成の取組推進	2.9	
	⑥ 生き方指導としての進路指導の充実	2.9	
	⑦ 特別活動の充実、推進	3.0	
心の教育	⑧ 道徳教育の充実による豊かな心の育成及び、全教育活動での互いのよさを認め合う場面づくり	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業において、学年全体で更なる連携を図り組織的に行っていく。 ・担任、副担任で連携し道徳の授業ができた。 ・考えさせる道徳に努めた。
	⑨ 人権を考える道徳教育の推進	3.0	
	⑩ 三つの合言葉を通した取組	2.9	
情報教育	⑪ ICT活用による分かる授業の実践	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用タブレットの保管方法について検討が必要である。 ・職員にタブレットが導入されたことにより、ICT機器の活用が進んだ。
	⑫ 情報モラル教育の充実と情報管理の徹底	3.1	
	⑬ 生徒の情報端末機器活用の実態把握と指導の徹底	2.8	
開かれた学校	⑭ 積極的な情報の収集・発信	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の講演会は、生徒の興味や関心を高めるいい機会となった。
	⑮ 学校評議員会の活性化・機能化	3.0	
	⑯ 地域連携の推進	2.9	
保健安全	⑰ 体力・健康づくりの生活化の推進	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを全職員で事あるごとに確認していきたい。
	⑱ 安全指導の充実	3.1	
	⑲ 性に関する指導の充実	2.7	
	⑳ 食育の実践と充実	3.0	
教職員の資質向上	㉑ 研究授業・授業参観交流による校内研修の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、カリキュラムマネジメントを意識した教育活動を進めたい。
	㉒ 外部研修への計画的・積極的参加	2.6	
	㉓ 服務指導に関する校内研修の充実	3.1	
西陵中授業メソッド	㉔ 西陵中授業メソッドを意識した授業計画及び取組	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に「学びのステップ」を意識した授業づくりを進めていきたい。
	㉕ 西陵中授業メソッドのルール（方法）の達成度	2.8	
	㉖ 学びのステップを意識した授業での取組	2.9	
	㉗ 西陵中授業メソッドの目標達成度	2.9	
一校改革	㉘ 「自ら気付き考えて清掃」の活動推進	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を積極的に進めていきたい。 ・時間いっぱい清掃を考えさせ、実践させていきたい。
	㉙ 「意識改革による業務改善」の推進	2.8	

3 次年度に向けての取組

- ・特別支援的な面を考慮した授業実施
- ・学びのステップを意識した授業の実施
- ・道徳授業の充実
- ・組織的な生徒指導の更なる充実
- ・生徒会活動の更なる充実
- ・ICT活用をさらに進めるための校内研修の充実
- ・清掃指導の充実

